

出展作家



陶芸
熊本 一哉

遊喜窯

豊かな自然の中で、四季をおりませながら手に馴染む器、独自の色合いを生かした作品を制作しています。



木工
中川 勝之

櫟工房

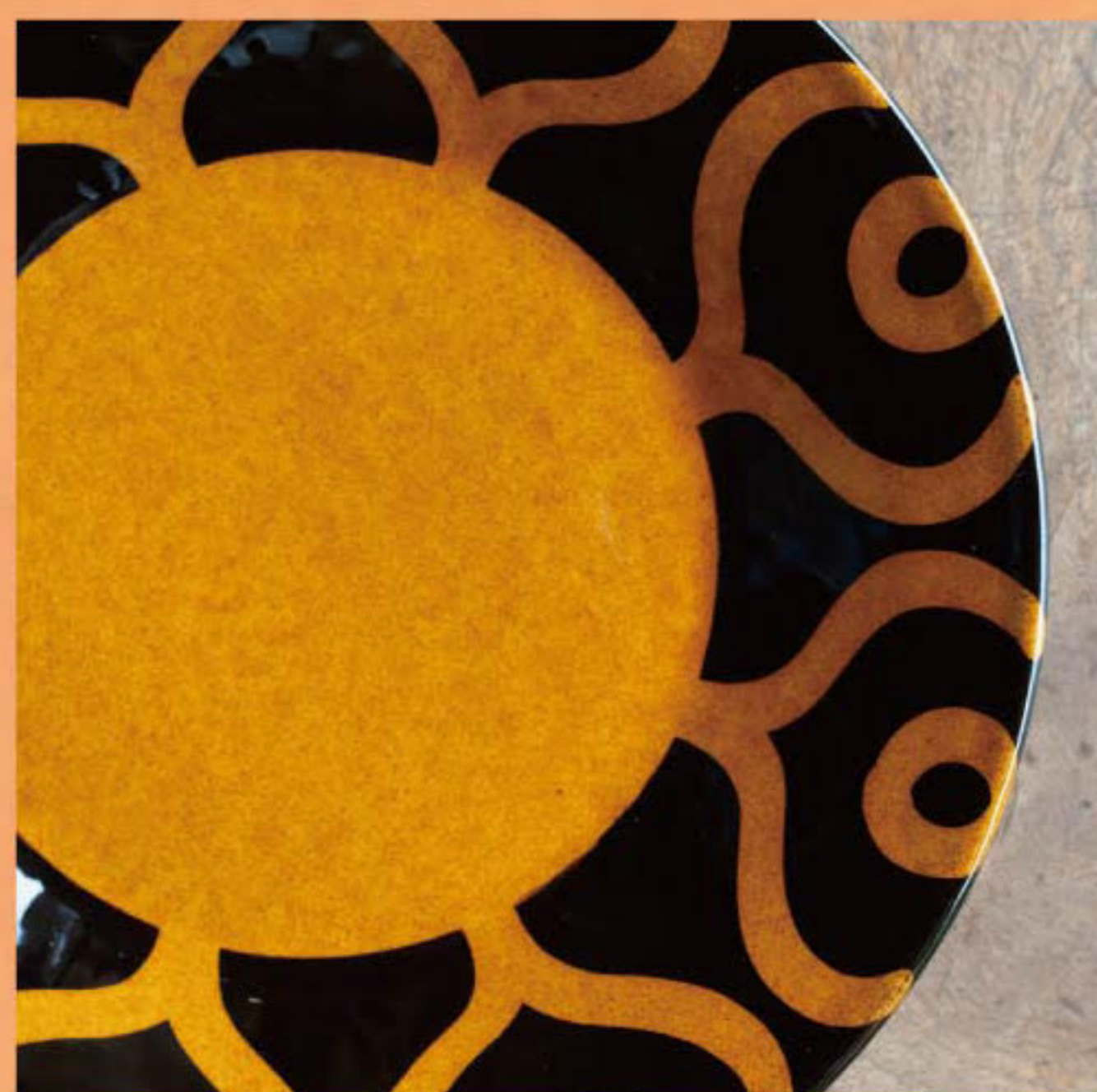
生まれ育ったこの里山のほっとする景色、空気感が漂い、使い込めばこむほど馴染んでくれる木工品を目指しています。



陶芸
井上 啓

啓峰

辰砂、紫紅釉、青鈎窯、灰釉等の窯変的な釉薬で食器・酒器・花生け等を、ここ胡麻の地で野鳥の声を聞きながら日々制作しています。同じ時に焼いた物でも少しずつ全て焼き上がりの違うそんな不思議な色合いを手にとって楽しんで頂ければと思います。



陶芸
澤田 卓伸

TAKUNOBU

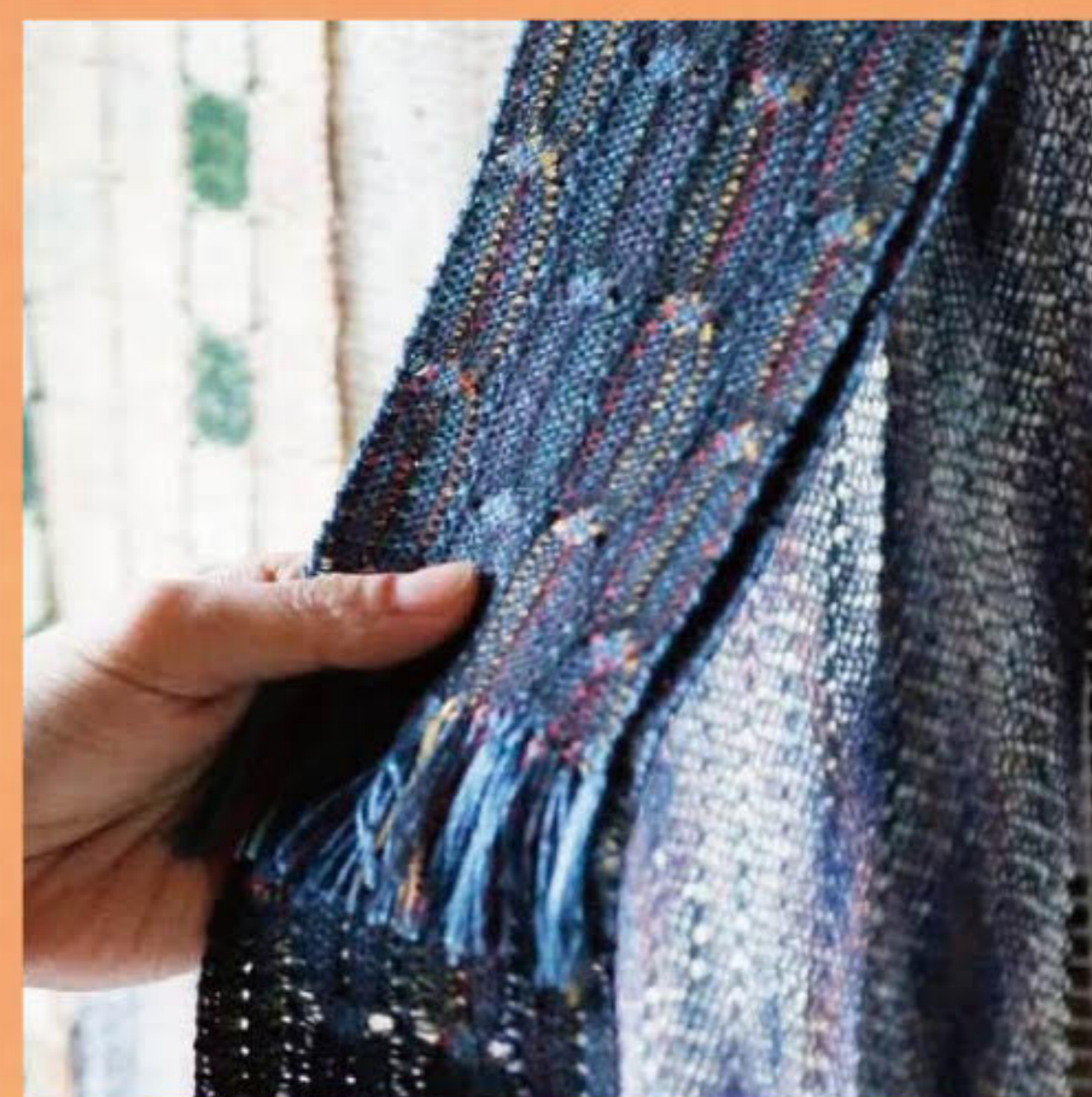
京都府京丹波町で作陶しています。15歳から陶芸を学び、気が付くと20年もこの仕事を飽きずに続けていました。



陶芸
長元 宏

陶房宏

京都市内より移り26年。胡麻の静かな空間で季節を感じながら器を作っています。器作りは土を選び、釉薬を調合し、焼き方を考えていきます。シンプルですが、日々の中で少し楽しくなれる器が出来上がればと思っています。



くみいと
吉良 學

くみいとや 綺羅

金糸・銀糸・絹糸に依る幾何学模様を組地を変化させることで、多様な表現を探しつつ新たな方向を追求して行きたい。



陶芸
林 益郎

hayashi masuo

丹羽篠山在住。手にとってホッとできるような食器づくりを心がけて作陶しています。粉引カップなど長く使うほどに味わいが出て馴染んでいきます。ぜひ自分だけの一品を育ててみませんか。



陶芸
羽倉 正

動物の置物を主に製作しています。フクロウがメインだったのですが、現在はネコ、クマなどの哺乳類にも取り組んでおります。写真は大阪府の高代寺で保護、飼育されているツキノワグマをモチーフにつくったものです。



陶芸
堤 真一

天外窯

すべて窯まかせ。形つくれば窯が焼き上げてくれる。そんな作品作りが理想です。

南丹市工芸家協会

<https://kyoto-nantan-kougei.com>
Tel 080-1454-5128



会場: わざどころPON

<https://wazappon.link>



LINE
@227cbmws



Mail wazappon@gmail.com

Tel 090-7619-8673 (フジムラ)

11-18時OPEN 火水曜定休 毎週木曜は野菜の日 第2・4土曜はパンの日

〒629-0141

京都府南丹市八木町八木鹿草76-1
一般社団法人わざどころPON

